平成２５年度第１回大和市文化財保護審議会会議　会議録

会議名 （審議会等の名称）		平成２５年度第１回文化財保護審議会
開催日時		平成２５年８月２７日（火曜日）１４時～１６時
開催場所		大和市役所５階研修室
出席状況	委員	５人
	その他	０人
	事務局	文化振興課長、市史・文化財担当係長、他担当１名（計３人） 文化スポーツ部文化振興課市史・文化財担当　内線（５２２５）
	傍聴人数	０人
公開・非公開の状況		■公開　　□非公開　　□一部非公開
非公開・一部非公開の場合はその理由		
審議又は検討経過及び結果		**（１）会議次第** １、平成２５年度市史・文化財事業について ２、平成２４年度郷土民家園の指定管理業務の評価について ３、その他 **（２）審議及び結果** 主な内容は次のとおり **１、平成２５年度市史・文化財事業について説明** ●意見等、特になし。 **２、郷土民家園の指定管理業務の評価について協議** ●評価 ・郷土民家園 ①指定管理者として、協定書などに則り業務を実施している。 ②郷土民家園の特色を生かした多様な事業のみならず、地域の団体との連携事業にも積極的に取り組んでおり、地元に一層根付いた事業を展開している。また、来園者名簿への記帳者数が前年度より増加していること及び事業参加者もリピーターが多いことは評価できるが、全体の来園者数は減少傾向にあるため、来園者の新規開拓が課題である。 ③設備点検や清掃等の施設管理が適切に実施されている。 ④学芸員を配置し、施設の管理を適切に行う体制を整えている。また、安定的な管理運営を行う上で、十分な財務状況であると判断している。 ●その他意見 ・来園者数増加のための取組みとして、夏休みの子供を対象とした事業を増やしてはどうか。現在では、夏休み期間に実施されているのは「親子で作る竹のおもちゃ」の１事業だけだが、需要があると思う。 ・現在実施している市内３館合同企画展の際に実施しているスタンプラリーについて。神社や寺などにも協力してもらい、もっと広く地域の歴史や文化に興味を持てるようなスタンプラリーにしてはどうか。地域別、テーマ別に組み合わせることで、バリエーションも増える。

	・大和市は縦に長いので、1 日では市内全域を回ることは難しい。スタンプラリーを実施するにあたっては、一定の期間を設けて実施することが望ましい。 ・昔の写真展などはやはり人気があるので、図書館や学習センターなどとも連携して開催し、そこにスタンプラリーも組み込めば、参加者が多くなるのではないか。 ・自然観察センター（自然分野）と郷土民家園（歴史・文化分野）で連携して事業を展開していけば、事業の幅が広がり、活性化するのではないか。同じ公園内に施設があるという立地条件を活用した方が良い。 ・「評価の視点２」にある来園者数については、カウンター集計では減少しているが、記帳集計の人数は増加している。民家園に行こうという意識を持った来園者が増えているということだと思うので、一概に来園者が減少しているという評価を下すのは、少し厳しいのではないか。 ・学芸員の研修等について。同類の施設へ職員を派遣するなどして、新しい視点を取り入れることは、マンネリ化の防止や新たな事業を実施する際にとても有効である。また、研修は内容だけではなく、そこで得られる人脈も貴重な財産となる。人材にお金をかけないと質は上がらないので、ぜひ積極的に参加してもらいたい。 ・学芸員には、自費で学会などに入るなどして知識や情報を得たりしている人が多くいる。外部研修に行かせることができる制度作りが必要である。 ・県内の古民家施設同士で連携して、もっと情報交換等を行えば、互いに事業を活性化させることができると思う。県内の施設リストを作成してはどうか。 **３、その他** ①深見（一ノ関）の道祖神について 平成 24 年度の文化財保護審議会において、柳田國男の著作「水曜手帖」に登場する深見（一ノ関）の道祖神の損傷が激しいため、対処した方がいいのではないかとのご意見をいただいていた。破損個所の補強及び意識啓発のための案内板設置を検討している。また、新たな破損を防ぐための方法について、道路の所管課と協議して検討していくことを事務局から報告。 ②大和市遺跡・歴史施設 PR 映像作品「月見野で君に出会う～やまとロマン街道～」について 平成 24 年度第 2 回の文化財保護審議会において、作品中に道具屋の店主が石器（レプリカ）を売買するという場面があるが、文化財保護法では拾った石器などを勝手に売買することは禁じられているため、作品上の演出であっても望ましくないとの指摘があった。 現在は、貸し出し用の DVD に「あくまでも作品上の演出であり、土器や石器などを発見した場合には、遺失物として警察に届け出る必要がある」旨のことわり文を貼付し、注意を促していることを事務局から報告。

	●その他意見 ・お寺などで公開可能な文化財は、積極的に公開した方が良い。先方の負担も考慮して、一定期間を設けて公開するなどしてはどうか。 ・仏像など普段見ることができないものを見られるというのは、とても魅力的である。一箇所に集めて展示をするのは難しいので、相模原市のように市民講座などで見て回るという催しは、人気があるかもしれない。 ・ここ数年で双盤念仏の映像記録を作成したり、県の指定になったりと他県で動きがある。研究者が少ないこともあり、市史研究第 28 号に掲載されている大和市の上和田薬王院双盤念仏の論文は、双盤念仏の研究において要となる資料となっている。貴重な文化財であるので、今後の動向を見守って欲しい。